品目： ほうれんそう

平成 22 年度版

月旬	1 上中下	2 上中下	3 上中下	4 上中下	5 上中下	6 上中下	7 上中下	8 上中下	9 上中下	10 上中下	11 上中下	12 上中下

目標収量：1,000～1,500Kg

栽培体系

パルク（晩抽）サンライト

リード オーライ

サンライト おかめ トニック

省力化＋断根防止（間引き）シーダテープやコート種子を利用する。

0 日 → 発芽から 15 日→本葉 2 枚→生育が急激に伸長→25～35 日→

種子量：６～８ℓ
コート種子（株間 5～7cm）90～130 千粒
シーダーテープ（１粒 / ５ ～ ７ cm） 4300 ～ 6500m

栽植株数：８～１３万株、畝幅：135 ～ 144cm、条間：15 ～ 20cm、株間：5～７cm

	肥料名	数量（Kg）	成分
元肥	完熟堆肥	1000	PH：6.3～7.0 有効態リン酸 40 mg以上 N：16～20 P：12～14 K：14～16
	苦土石灰	60～80	
	消石灰	40～60	
	苦土重焼燐	20～40	
	燐硝安カリ S604	60～80	
追肥	液肥 2 号又は NK 化成	生育応じて	

病害虫

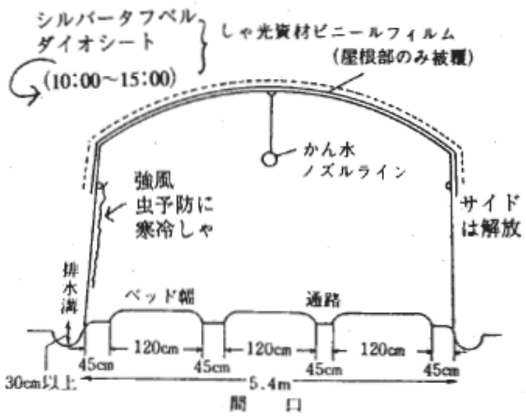
← 立枯病・べと病 →

← ネキリムシ・ヨトウムシ・ハモグリバエ・ダニ・アブラム →

- 夕方潅水は病害多発となります注意！
- 薬散は葉体温の低い早朝に！

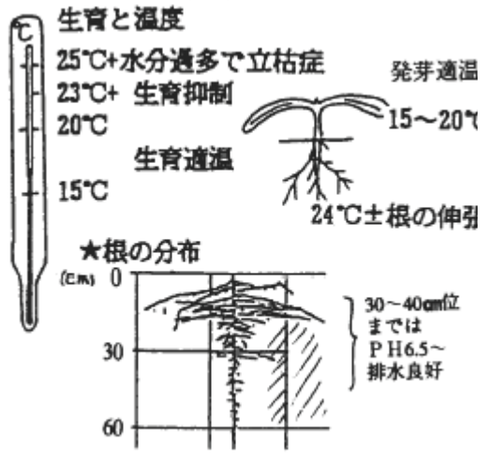
栽培上のポイント

1、ハウス環境、条件の整備
- 陽光、通風、排水が良く、肥沃な土壌
- PH：６．３～７．０（５．７以下で生育不良）苦土石灰は対比とともに、播種２０～３０日前に施す。ＰＨ６以下では消石灰で調整する。
- ＥＣ：０．３～０．７（１以上で立枯病多発）
- 有効リン酸４０mg 以上



雨よけハウスの設置の方法

2、播種準備
・生育期間が３０日前後なので基肥（速効性）を主体とする。
・高温期は１～２割り減肥とする。
播種７～１０日前から遮光（熱）して地温を下げる。（２３℃以下）発芽適温→１５～２０℃
発根適温→±２４℃
温度と生育
２５℃＋水分過多→立枯病
２３℃＋水分過多→生育抑制
２０～１５℃生育適温



全体に深層まで十分に潅水して、耕起しうね立て（ベッド面を均平化し硬くしない）

3、播種：涼しい条件で行う。
- 間引きによる断根防止と省力化のため、テープでは土としっかりと密着させ（軽く鎮圧）発芽まで乾かさないこと。

3 間 2～3 ベッド：床 90～100cm 幅（a 当り）

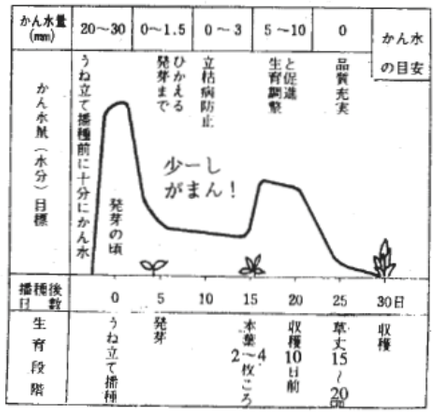
条数	テープ長(m)	株数（5～7cm）本
6	４３２	6,000～8,600
7	５００	7,200～10,000
8	５７０	8,200～11,500
9	６４０	9,200～12,900

- １～２cm 位の覆土後に、十分潅水する。（霧状で、床面を硬くしない）

4、遮光（熱）：通風を良くする事。
- シルバータフベル等（遮光３０％位）
- ダイオシートは発芽が揃ったら、夕方外す。ハウス内が３０℃以上では、午前１０時から午後３時ごろの間だけ被覆する。

（収穫数日前には外して葉色を濃くする）

5、潅水＜早朝～午前中、夕方はしない＞

時期	量
播種前、播種直後	十分潅水
発芽～本葉２枚	少なめ
本葉４枚	やや多目
収穫前	少なめ

6、収穫
涼しい早朝に収穫し規格に合わせて出荷する。目標草丈 25～28cm